

# “ふじのくに”士民協働事業レビュー結果

(企業局)

事業番号	19	事業名	工業用地開発可能性基本調査事業費
------	----	-----	------------------

## 1 基本情報

実施日/班名	9月8日 第2班	時間	13:11~14:26
担当課名	事業課	事業費	15,000千円

## 2 レビューの結果 施策を推進する効果の程度

結果	あまり効果がない	判定区分	県民評価者の内訳	
			大きな効果がある	0
			一定の効果がある	14
			あまり効果がない	15

## 3 県民評価者の意見

### (1)見直し・改善策

目的指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>最終成果としての企業立地を表すのは困難とされます。経年成果を今後表現して欲しい。</li> </ul>
対象範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町によって財政力は違うから、一律に要望があれば実施するというのは再考した方がいい。</li> </ul>
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町からの提供資料を積極的に活用し、市町との連携を密とした活動を願う。</li> <li>もう少し企業局独自のノウハウを売る形での先行投資の助成の具体的な内容や事業内容の見直しが必要だと思われます。</li> <li>この事業については、助成する意味等が感じられなかった。</li> <li>民間でよいのではと思う。ムダ使いに思う。</li> <li>この事業の背景の説明が2転3転して、はっきりしていないように受け取れる。</li> <li>「市町と県(企業局)との係りあい」について明確な関係が疑問。事業そのものの有効性等は理解できません。</li> <li>市町からの資料を基に可能性を判断するとあるが、地元の行政が良く事情を知っているはずなので、事情に詳しくない県が補助金を出すのは良いが事前調査としての開発可能性の判断が出来るのか。可能性等の判断は市町にまかせて補助金のみ出す方法で良いのではないか。</li> <li>財政的に苦しい行政に対してお金を出すという程度で良いのではないか。</li> <li>本当に県のやる事業か疑問。</li> <li>新東名沿線の市町を対象とした事業であればもっとつつこんだ検討がなされるべき。</li> <li>市町育成という見地から言うとズサン計画。</li> <li>市町からの要望をわかりやすく聞いているか?市町へのノウハウの方が重要。</li> <li>市町に対し補助金助成のみならず技術的援助も対応すべき。</li> <li>市町の工業用地開発に対し、市町に対する助言等援助も対応。</li> <li>今後の方向性の内容では事業内容とは違っていると感じる。</li> <li>絶対必要な要望(市町)が多くてどうにも必要な補助金設立と思えない。</li> <li>ほかに手だてがあるなら、この事業が必要ではない(事業予算も少ないことだし)。</li> </ul>

事業内容

- ・補助金目的がよく分からない。
- ・もう少し市町の過去の成果を検証し、事業の見直しを図るべき。
- ・規制緩和等お金をかけないでできることがあるのでは。
- ・市町が過去にやったことをもっと検討してから出発してもよかったのでは。

(2)その他の意見

- ・各地域に応じた用地開発が行われていると思います。補助金のための事業ではこまる。
- ・新規の企業用地、立地の拡大も必要であるが、既存の県内、企業用地の活用はどうなっているのか？
- ・市町が基本的リーダーだということからなのか、説明を聞いても温度が低い気がする
- ・肝心なことになると市町が...市町が...という言葉が出てきて、この事業はレビューの項目にする必要があるのかがよくわからない。
- ・助成金が調査実施につながっているのか？よくわからない
- ・標準5年3か月かかる期間のうち、3～6か月で進む工程なので、助成金によってどれくらい（期間？）効果が出るのか？
- ・基本受注するという事、時間、人件費をかけて使う事、事業の見込みの良し悪しの決定、実例が少ない資料の為、いまいち。
- ・事業調査の1件あたり既定予算を知りたい。
- ・人口の多い所に企業をもっていった方がいい。
- ・企業訪問件数50社は既に市町から要望が有るのか？
- ・“みせ方”を工夫したら良い！
- ・50社への訪問がなぜ活動指標につながるのか？50社への訪問は市町が行うのでは？
- ・新規産業立地事業費助成、地域産業立地事業費助成の事業とはどの様に協力しているのか？
- ・企業局の利益を追求しているように思える。
- ・ある市に基本調査のことを聞いたら「メリットもあるけど、デメリットもあるから...」という話でした。詳しくは聞く事ができませんでしたが、デメリットの事を考えて下さい。使いにくいそうです。
- ・企業局自体の事業というが、こうした補助金交付は他の部局と重なっている部分があるのか、よく分からない。
- ・市町に相乗りしてでも企業局としてのメリットを強調してほしかった。
- ・よく理解ができません。（頭の整理がつかない）
- ・企業誘致が目標であろうが分譲余譲金で実施するから調査費をだすのか
- ・保留団地1か所の売却で赤字になるというが内部保留金が減少すると判断される。終了予定年度がないので、保留金がなくなれば予算化するのか？
- ・市町の要望によるとしているが、市町は制度を承知しているのか疑問に思われる。
- ・事業スキームによると、企業誘致構想から用地造成まで5年3か月を要するとあるが、その間に経済情勢の変化により計画が頓挫した場合などの説明がなく安心感がもてない。